

「富山の本気」と題した風景写真が SNS 上で話題の射水市出身フォトグラファー イナガキヤストさんにインタビューしてみました。

—写真を本格的に始めたきっかけは？

息子の誕生がきっかけです。

成長をしっかりと残しておきたくて

良いカメラ(Canon EOS 5D Mark III)を買いました。

それから趣味のキャンプや風景の写真など色々撮り始めるようになりました。

—イナガキヤストさんにとって写真とは？カメラとは？

『一瞬を切り取る道具』です。

—どのような気持ちでレンズをのぞいていますか？

「今見ているこの場面をどう切り取ったらより伝わる写真になるか」と、考えていることが多いです。

—最近特に忙しそうだなあ！と思いますが…忙しい仕事とプライベートの両立について工夫していることなどありますか？

2022年の4月までは会社員をしながら休みの日に写真家として活動していたので、ずっと忙しかったです(笑)。

今は会社を退職して写真家のみで活動しています。好きなことをやっているのも忙しくてもストレスはたまりませんが、家族との時間だけは確保できるように、時間が決まっていない事務作業などは家族が寝た後などにやるようにしています。

—えらいですね！見習いたいものです(涙)

—話は変わりますが…「臨床検査技師」って知っていますか？

普段は血液などの検査をするお仕事というイメージがあります。今は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためPCR検査でも大忙しと聞きます。

—今後、医療と写真のコラボなど機会があればどうでしょうか？

人の役に立てる可能性があるなら是非挑戦してみたいです。

—最後に臨床検査技師を含む医療従事者の方へひとことメッセージをお願いします！

お忙しい日々が続いていると思いますが、皆様のおかげで僕たちは安心して生活できております。これからもお身体に気をつけてご活躍ください。いつもありがとうございます！

—今日は本当にありがとうございました。今後益々のご活躍を期待しています！



イナガキヤスト (フォトグラファー)

射水市出身で、県内を中心に活動するフォトグラファー。

「富山の本気」と題した風景写真が SNS で話題に。

SNS で多数のフォロワーを持ち、写真を通じて富山の魅力を発信中。

さまざまな団体から撮影依頼が舞い込んでいる。